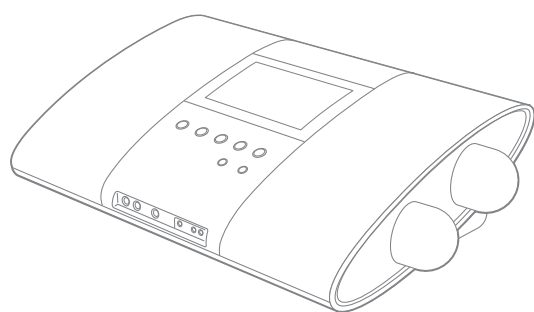
Body-Design

EMS / Electrical Muscle Stimulator　［ ボディデザイン ］

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

はじめに

このたびは、″Body-Design［ボディデザイン］″をお求めいただき、
まことにありがとうございます。
Body-Design［ボディデザイン］の機能を十分に理解してご使用
いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、
注意事項を必ず守って正しくお使いくださる様お願いいたします。

目　次

セット内容

商品のご確認について

商品がお手元に届きましたら、お客様ご自身で箱の中身をご確認ください。
もし足りない部品などがございましたら商品到着後２週間以内にお買い上げ販売店にご連絡ください。

本体セット品の内訳

本 体　1台

電源アダプタセット　1組

EMSパッド　2組（4枚×2セット）

EMSパッドコード　2組

Ｖスティック　1個

ジェル　1本

加温パッド　1枚

ベルト　1枚

取扱説明書（本誌）　1部

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使い頂き、ご使用いただいている方と他の人々への危害や損害を未然に防止する為のものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」･「警告」･「注意」に区分しています。
いずれも、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

区分	内容
	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負うことがあり、かつその度合いが高い危害の場合
警 告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負うことが想定される危害の場合
注 意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害や損害の場合

※物的損害とは、家庭・家財・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例

記号は、危険、警告、注意をうながす内容があることをお知らせするものです。
図の中や近くに具体的な「注意喚起」内容を示しています。

記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。
図の中や近くに具体的な「禁止」内容を示しています。

● 記号は、行為をお守りいただく内容をお知らせするものです。
図の中や近くに具体的な「指示」内容を示しています。

危険

記号	内容
	・医用電気機器との併用は、誤作動を招く影響を与える恐れがありますので使用しないでください。 ①ペースメーカ、植込み型除細動機などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器 ②心電計などの装着形の医用電気機器 ③人工心肺等の生命維持用医用電気機器 ④その他の医用電気機器

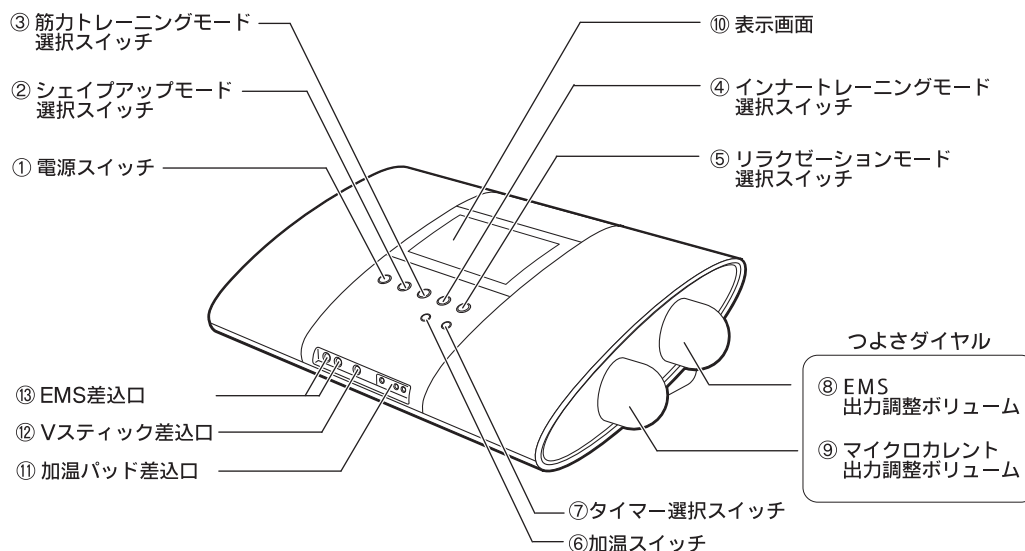
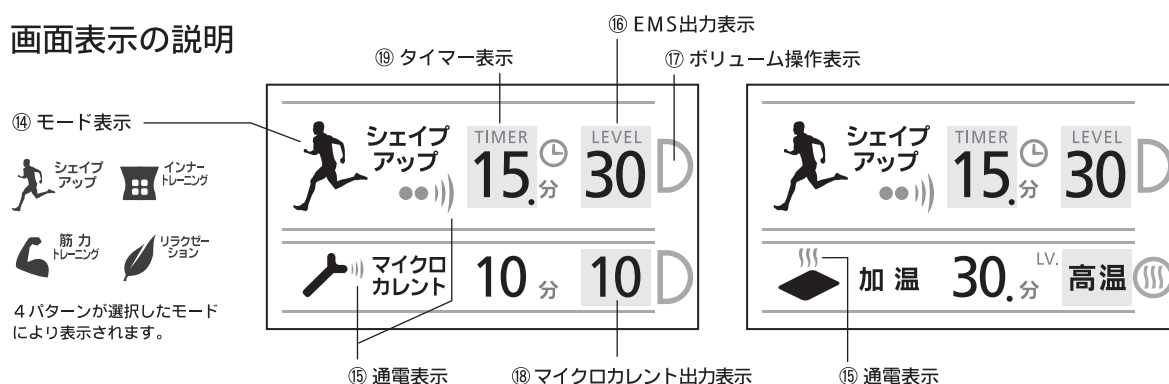
安全上のご注意

表示	内容
指示	次のような方は、ご使用を避けてください。 ●急性（疼痛性）疾患　●有熱性疾患・結核性疾患　●血圧異常 ●伝染性疾患　●悪性腫瘍　●静脈血栓症 ●心臓疾患・心臓に障害　●狭心症のある方 ●紫斑病など内出血しやすい方　●骨粗鬆症など骨折しやすい方 ●その他の疾患のある方 ●妊産婦（産前・産後を含む）　●妊娠、もしくは妊娠の可能性がある方 ●次のような皮膚疾患・炎症を起こしている方、または起こしやすい方 ・アトピー性皮膚炎　・特に皮膚が敏感な方　・化粧品による皮膚炎 ・日焼けによる炎症　・ニキビによる炎症　・その他の皮膚疾患 ●かゆみやほてりのあるシミや病的なシミのある方 ●ステロイド系ホルモン剤の長期使用や肝機能障害で毛細血管拡張を起こしている方 ●てんかん症状のある方　●多発性硬化症の方 ●乳幼児など自分で意思表示ができない方 ※通院中の方は医師にご相談の上、ご使用ください。
指示	次のような部位には、ご使用を避けてください。 ●眼球　●耳の周辺　●頭部　●口内　●陰部　●生理中の腹部 ●ノドボトケ（甲状軟骨）の上下左右5cm以内 ●心臓周辺　●傷口　●日焼けなどで皮膚に炎症を起こしている部位 ●皮膚が化膿し、炎症を起こしている部位 ●体内に金属やプラスチック、シリコンなどを埋め込んである部位 ※通院中の方は医師にご相談の上、ご使用ください。
指示	本器の使用によって、発疹、発赤、かゆみ等の症状が出た場合には、使用を中止して医師にご相談ください。
指示	感覚障害が認められる人は、医師にご相談の上、使用してください。 ●加温パッドによる低温やけどや、ＥＭＳパッドによるやけどの恐れがあります。
指示	適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷）がある人は医師にご相談の上、使用してください。
禁止	頭部へは使用しないでください。特に眼球や目のまわりの使用は危険ですので絶対にお避けください。
禁止	就寝時には使用しないでください。 ●重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。
禁止	浴室等の湿度の高いところや、入浴しながらの使用はしないでください。 ●重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。
禁止	他の医療器具や美容機器、暖房器具との併用はしないでください。 ●重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。
電源プラグを抜く	使用後は、電源を切りEMSパッド（導子）、Vスティック、加温パッドを差込口から抜き、電源アダプタをコンセントから抜いてください。 抜き差しの際は、必ずプラグ部分を持って行ってください。断線の恐れがあります。
禁止	自動車を運転しながらの使用しないでください。 ●重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。
濡れ手禁止	濡れた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。 ●感電の原因になります。
禁止	タコ足配線をしないでください。 ●火災と感電の原因になります。
禁止	寒い場所から温かい場所への移動はしないでください。 ●結露現象を起こし、火災・感電の原因になります。（移動後2時間以上使用しないでください）
禁止	傷んだ電源アダプタコードや電源アダプタを使用しないでください。 ●そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
指示	電源アダプタは確実に奥まで差し込み、定期的にほこりを取り除いてください。 ●電源アダプタにほこりがたまるとショートし、火災の原因になります。

安全上のご注意

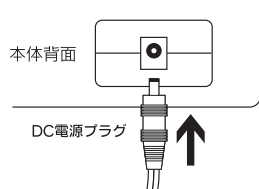
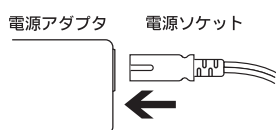
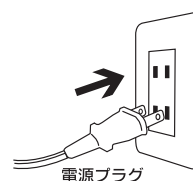
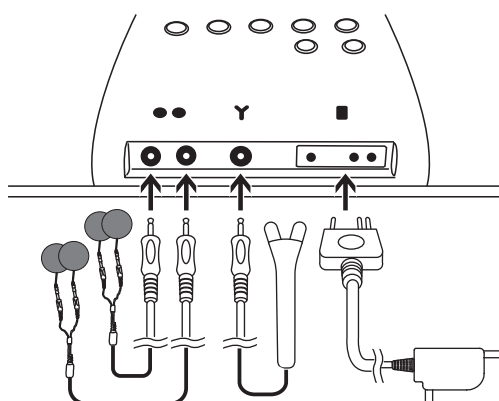
⚠注意

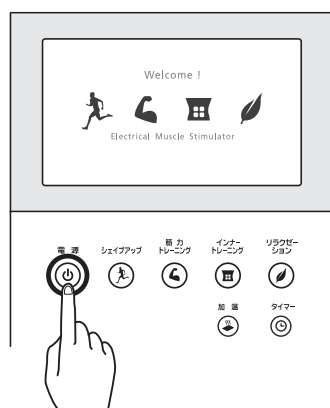
区分	内容
禁止	粘着パッドの着脱は本機器の電源OFFの状態または停止状態以外は、行わないでください。 ●故障の原因になります。
禁止	衝撃や振動の多い場所での保管はおやめください。 ●故障や誤動作の原因になります。
指示	加温パッドは、使い方によっては、低い温度でも低温やけどを起こす場合があります。 乳幼児やからだの不自由な方には使用温度に十分にご注意ください。
指示	EMSの出力前に必ずEMSパッドとEMSコードが奥まで差し込まれているか確認してください。
禁止	出力中にEMSパッドを貼りつけたり、剥がしたりしないでください。 ●強いショックを受けることがあります。
禁止	出力中は、ＥＭＳパッド、マイクロカレント先端部に、ベルト、ネックレスなどの金属が触れないようにしてください。 ●強いショックを受けることがあります。
禁止	出力中はEMSパッド同士を接触させないでください。 ●強いショックを受けることがあります。
禁止	寝転がって使用するなど、EMSパッドの粘着面が変化する状態で使用しないでください。 ●ＥＭＳパッドの粘着状態が変わると強いショックを受けることがあります。
禁止	粘着性が低下したEMSパッドを、ベルトで固定して使用しないでください。 ●ＥＭＳパッドの接触状態が変わると強いショックを受けることがあります。
禁止	ＥＭＳパッドと他の暖房器具を同じ部位で併用しないでください。 ●汗や水分でＥＭＳパッドの接触抵抗が変わると強いショックを受けることがあります。
禁止	他の電気製品の近くで使用しないでください。 ●誤作動し、事故やトラブルにつながる恐れがあります。
禁止	ＥＭＳパッドを交換する際は、4枚同時に交換してください。 新しいＥＭＳパッドと古いＥＭＳパッドを同時に使用しないでください。 ●炎症ややけどの恐れがあります。
指示	地震を感じたり、雷がある時は、電源を切り使用を中止して、 電源プラグをコンセントから抜いてください。
指示	ＥＭＳの出力レベルは、部位やトレーニング内容によって個人差があります。 必ず取扱説明書にしたがって、ご使用ください。
指示	ＥＭＳの出力レベルは、不快でないレベルで使用してください。 出力レベルを上げ過ぎると、発疹ややけどの恐れがあります。
指示	ＥＭＳパッドの警告・交換の目安、取扱上の注意を 必ずよく読んで使用してください。
指示	トレーニングは、1部位に対して1日 40分を超えないようにしてください。 40分以上同じ部位で使用すると、発疹や低温やけどの恐れがあります。
指示	ご使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

各部の名称と働き

画面表示の説明

名　称	はたらき	名　称	はたらき
①電源スイッチ	電源を「入」「切」するスイッチです。	⑪加温パッド差込口	加温パッドの出力プラグを差し込む差込口です。
②シェイプアップモード選択スイッチ	モード選択画面でシェイプアップモードを選択するスイッチです。	⑫Vスティック差込口	Vスティックの出力プラグを差し込む差込口です。
③筋力トレーニングモード選択スイッチ	モード選択画面で筋力トレーニングモードを選択するスイッチです。	⑬EMS差込口	EMSパッドコードを差し込む差込口です。
④インナートレーニングモード選択スイッチ	モード選択画面でインナートレーニングモードを選択するスイッチです。	⑭モード表示	EMSパッドの出力モードを表示しています。②～⑤のスイッチを押すことでモードを選択することができます。
⑤リラクゼーションモード選択スイッチ	モード選択画面でリラックスモードを選択するスイッチです。	⑮通電表示	使用しているモードの通電状態を表示しています。
⑥加温スイッチ	加温機能モード「低」「高」「切」を切り替えるスイッチです。	⑯EMS出力表示	EMSの出力設定値を表示しています。「00」～「30」までの設定が可能です。
⑦タイマー選択スイッチ	タイマー時間を選択するスイッチです。	⑰ボリューム操作表示	出力ボリュームの状態を表示しています。黒点滅…スタート前を表します。赤点滅…出力上限に達していることを表します。
⑧EMS出力調整ボリューム	EMSパッドを接続した場合の出力を調整するボリュームです。	⑱マイクロカレント出力表示	マイクロカレントの出力設定値を表示しています。「00」～「10」までの設定が可能です。
⑨マイクロカレント出力調整ボリューム	マイクロカレント設定時に出力を調整するボリュームです。		
⑩表示画面	機器の状態を示す表示画面です。	⑲タイマー表示	EMS使用時のタイマー時間を表示しています。

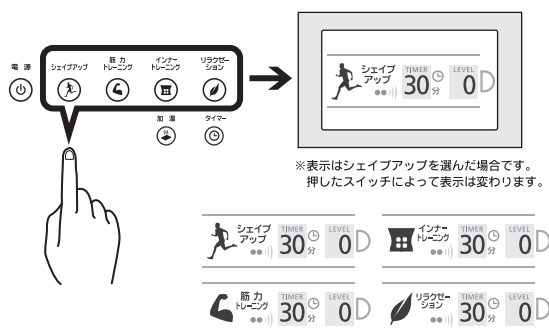
操作方法

1 電源アダプタを本体に 接続します

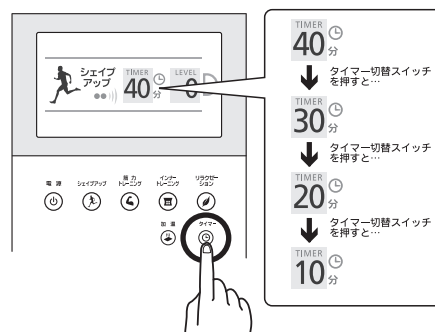
1. 本体にDC電源プラグを差し込む

2. 電源アダプタとコードを接続

3. 電源プラグをコンセントに差し込む

2 使用したい機器の導子を本体に 接続します

3 本体の 電源をいれます

製品の起動画面が表示されます。

4 モードを 選択します

EMSパッドコードを差しこんだ後にお好みのモードを選択して下さい

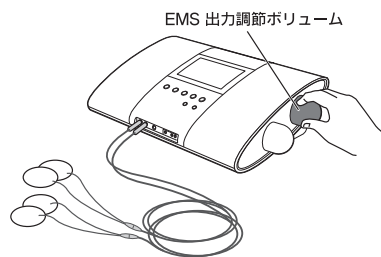
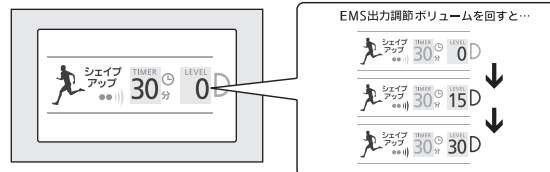
※表示はシェイプアップを選んだ場合です。
押したスイッチによって表示は変わります。

5 タイマー選択スイッチを押し タイマー時間を設定します

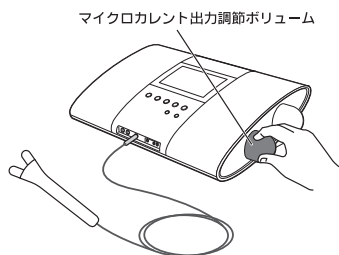
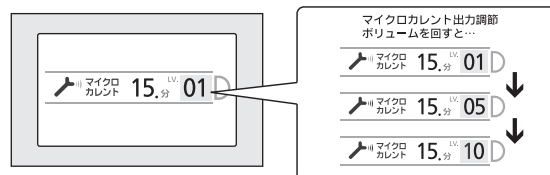
タイマー設定スイッチを押す毎に「40分」、「30分」「20 分」、「10 分」と順に繰りかえされます。

※加温パッド、マイクロカレントは、タイマーを設定しなくてもすぐにスタート出来ます。→ P9へ

次ページへ続く ➔

6 お好みのモードで スタートします

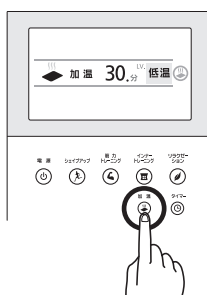
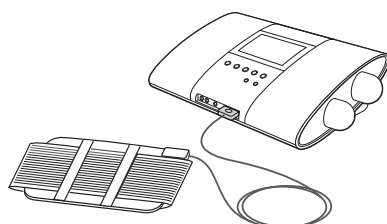
EMSパッド、Vスティック、加温パッドをそれぞれ使用することが出来ます。

● EMS出力調整ボリュームを操作するとEMSパッドに出力が開始されます。

出力は「01」から「30」までの 30 段階のレベル設定が可能です。
（設定が「00」の場合は、出力されません）

注意
・苦痛になるまで出力を上げますと、やけどやトラブルの原因となります。低めの出力でご使用ください。
・身体に異常を感じたらすぐにご使用を中止してください。

● マイクロカレント出力調整ボリュームを回すとVスティックに出力が開始されます。

出力は「01」から「10」まで の10 段階のレベル設定が可能です。
（設定が「00」の場合は、出力されません）
マイクロカレントは15 分で自動的に終了します。

● 加温スイッチを押すと加温が開始されます。

温度設定は２段階（低温モード／高温モード）

※EMSとの併用はできません

加温パッドを接続しても、EMSが出力されている時は、加温パッドは使用できません。再度電源を入れ直してください。

加温ボタンを押すと

1. 通電表示が点滅を始め加温［低温モード］が始まります。

2. もう一度押すと加温［高温モード］に切り替わります。

※加温モードは30分で自動的に終了します。

7 作動中は

設定が終わりましたらタイマーが終了するまでそのままの楽な姿勢でお使いください。

本機は、次の順序で動作が優先されます。［1. EMS　2. マイクロカレント　3. 加温］

例えば、３つの導子が接続されている場合は、
1. LCDにはEMSとマイクロカレントの２つが表示され、加温は表示されませんが、加温スイッチを押すと加温が開始されます。このときLCD表示は加温とマイクロカレントに切り替わり、EMSの出力はできません。
2. EMSの出力中は加温ボタンを押しても加温は出力されません。

8 自動的に 終了します

設定したタイマー時間が経過すると、出力を停止します。
自動的に電源が切れ、終了となります。

皮膚に疼痛感や温熱感がなければ、タイマー終了までの間、そのままお待ちください。
途中で停止する場合は、ダイヤルを左に回しレベル設定を0にするか、電源ボタンを押してOFFにしてください。

注1　使用中に苦痛を感じた際は、出力調整ボリュームを下げるか使用を中止してください。
そのまま使い続けると筋肉の麻痺ややけどの原因となります。

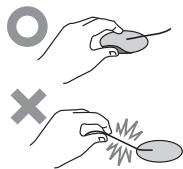
注2　続けてご使用になられる時は、EMSパッドの位置を変更してお使いください。
そのままの位置で連続して使い続けると筋肉の麻痺ややけどの原因となります。

EMSパッドの取扱いについて

ご使用上の注意

EMSパッドを安全かつ快適にご使用いただくため、次に挙げる事柄を必ずお守りください。

- 皮膚にキズや異常がある部位には使用しない!!
- 皮膚に異常を感じたら、直ちに使用をやめる!!
- 粘着力の低下したEMSパッドは使用しない!!
  EMS パッドは使用を重ねるたびに、粘着面に付着した皮脂などの汚れにより粘着力が低下します。
  そのまま使用すると、身体からEMSパッドが剥がれたり浮いたりして正しい刺激が得られなくなり、
  やけど、発赤、痛み等を引き起こす場合があります。
- 乾燥したEMSパッドは使用しない!!
  EMSパッドは粘着面に含まれる水分によって、適度に電気が流れる仕組みになっています。
  粘着面の水分が不足すると、やけど、発赤、痛み等の原因となり非常に危険です。
- 粘着面に異常のあるEMSパッドは使用しない!!
  粘着面に異常（キズ、はがれ、気泡等）が発生したものを使用すると、
  局部的に電流が流れ、やけど、発赤、痛み等の原因となり、非常に危険です。

- EMSパッドを剥がすときは、必ずパッドの端をつまんで剥がしてください。
  コードを持って剥がすと劣化が生じ、思わぬ刺激を受けたり、やけどの原因になります。
- EMSパッドを剥がすときは、必ず本体の電源を切ってください。

交換の目安

EMSパッドは消耗品です。次に挙げる交換時期がきたものはご使用なさらず、
速やかに新品と交換してください。

● EMSパッドの交換時期

・ご使用回数（EMSパッドの着脱）が20回を超えたもの
・開封後1ヶ月を過ぎたもの
・EMSパッドに粘着力の低下、粘着面の乾燥・異常等の劣化症状が発生したもの
・未開封のものでも有効期限を過ぎたもの（有効期限はパッケージの裏面に記載）

エラーメッセージについて

誤った手順で使用したり、安全装置が作動すると、エラーメッセージが
表示されることがあります。下表の内容に従い適切な処置を行ってください。

エラーメッセージ表示	コード	エラーの内容及び処置
EMSパッドの接続をご確認ください 11 ここにコードが表示されます	 11 12 21 22	**EMSパッド接続** 出力中にEMSパッドコードが抜けた。 出力開始時に差しこまれていない 出力中にEMSパッドコードが差しこまれた。 EMSパッドコードを確実に接続し、再度出力を開始してください。 出力しても電流が流れない。 EMSパッドコードが確実に差しこまれていることを確認して下さい。 EMSの電流量が大きく変化した。 パッドがはがれたり、押し付けられたりしていませんか。貼付状態が安定した状態で、何度もこの表示が出る場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。
スティックの接続をご確認ください	 11 21	**Vスティック接続** 出力中にVスティックが抜けた。 マイクロカレントの過電流を検出しました。 出力レベルを下げてご使用ください。
加温パッドの接続をご確認ください	 11	**加温パッド接続** 加温パッドが確実に接続されていない場合があります。 加温パッドの接続を確認してください。 出力中に何度もこの表示が出る場合は、内部配線断線などの異常の可能性があります。お買い上げ販売店にご連絡ください。
オーバーカレント (異常電流検出) 赤点滅表示 オーバーカレント (異常電流検出)	 21 22	**オーバーカレント** EMS出力電流が警告レベルを超えた。 EMS出力電流が停止レベルを超えた。 安全装置が作動しました。 １.過電流値の90%以上の電流が流れている状態の時に赤点滅します。 この状態になった場合は、赤点滅が消えるまで出力レベルを下げてください。 ２.出力調整ボリューム表示が赤く点滅している状態で、さらに出力レベルを上げると、「ピピピッ」とブザー音が鳴り、オーバーカレントのアイコンが表示され、自動的に出力レベルが下がります。 ３.EMSパッドが接触するなど、規定値以上の電流を検出すると、「オーバーカレント」となり出力を停止します。
111 取扱説明書をご確認ください	 21 22	**111 エラー** 電源アダプタ電圧異常（高） 電源アダプタ電圧異常（低） お買い上げ販売店にご連絡ください。 付属以外の電源アダプタを接続していませんか。 付属品の電源アダプタでこの表示が出る場合はお買い上げ販売店にご連絡ください。
888 取扱説明書をご確認ください	 11 22	**888 エラー** 加温パッド温度過昇を検出した。 しばらく使用せずに温度を冷ましてからご使用ください。 何度も検出する場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。 他の導子が接続された。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記について症状を確かめてください。尚、これらの処置をしても
直らない場合や、この下記以外の症状でお気付きの点はお買い上げ販売店にご相談ください。

電源が入らない

①本体にＤＣ電源プラグが確実に接続されていますか？ ＤＣ電源プラグを奥まで確実に差しこんでください。
②コンセントに電源プラグはきちんと入っていますか？　コンセントにしっかりと差し込んでください。
③電源アダプタと電源コードはきちんと接続されていますか？ 電源アダプタと電源コードをしっかりと
接続してください。

出力が出ない（EMSパッド）

①EMSパッドコードが本体に接続されていますか？
EMSパッドコードを本体差込口に確実に差しこんでく下さい。
②EMSパッドコードとEMSパッドが差しこまれていますか。
EMSパッドコードとEMSパッドを確実に差しこんで下さい。
③EMSパッドが身体に密着していますか。
EMSパッドを身体に密着させて下さい。粘着力が低下した場合は、EMSパッドを4枚とも新しいＥＭＳ
パッドに交換してください。
④本体、EMSパッドコード、EMSパッドが確実に差しこまれている状態で出力レベルを上げても
刺激が全くない場合はコードの断線等の可能性があります。

出力が出ない（Vスティック）

①Vスティックが本体差込口に接続されていますか。Vスティックを本体接続部に確実に差しこんでください。
※Vスティックが本体接続部に確実に差しこまれている状態でも、お肌の水分量等により刺激が無い
場合がありますが、出力中はＬＣＤにマイクロカレント通電表示が点灯します。

刺激感が異なる（EMSパッド接続時）

①EMSパッドが4枚とも身体に密着していますか。
EMSパッドを身体に確実に密着させてください。粘着力が低下した場合は、そのまま使用せず、4枚とも
新しいEMSパッドに交換して下さい。
②EMS出力は、4本とも同じ出力になっています。
同じ部位に同じ出力レベルで出力すると同じ刺激が得られるようになっています。
EMSパッドの貼り付け位置が違うと、それぞれの感覚、皮膚の状態や筋肉量等が異なるので刺激感が違います。
EMSパッドの保存状態が違うと、水分量等が異なるので刺激感が違います。
※EMSパッドは、新しいものと古いものを同時に使用しないでください。

あたたまらない（加温パッド接続時）

①加温パッドはきちんと接続されていますか？
加温パッドをきちんと接続してください。
②加温の出力表示が点灯していますか？
入力画面で、加温モード選択スイッチを押してください。加温パッド表示の上側の「 ∭ 」の
表示が点灯すると、加温「低」モードが開始されます。
再度加温モード選択スイッチを押すと、加温「高」モードに切り替わります。
加温スタートから30分で自動的に終了します。
③ EMS出力中は、加温の表示画面が出ずスタート出来ません。

途中で電源が切れる

①タイマー時間は間違っていませんか？
タイマー時間は、タイマー選択スイッチを押しタイマー時間を設定してください。タイマー時
間は「40分」「30分」「20分」「10分」に設定することができます。また、マイクロカレントモード
は、 15 分、加温モードは 30 分で自動的に終了します。
②加温パッドと熱を遮断するものを併用していませんか？
加温パッドと熱機器や熱を遮断する断熱シートなどを併用しますと、本体の安全装置が作動します。
熱機器や熱を遮断する断熱シートなどは併用しないでください。
③左記エラーメッセージを確認してください。エラーメッセージが出ずに電源が切れる場合は、
ACコードの未接続や断線の可能性があります。

オーバーカレントのエラーメッセージが表示され出力レベルが上げられない。

本体には、規程値を超える電流が流れると事故やトラブルを防ぐために安全装置が組み込まれています。
左記エラーメッセージをご確認ください。

EMS出力中に本体から「キュンキュン・・・」（あるいは「キーン」など）と音がする。

本体から出力される特殊な電気信号を発生する際に、音が出ます。
EMS出力中に、本体より発生する「キュンキュン・・」や「キーン」などの音は、EMS信号を発生
する時に発生する動作で故障ではありません。

EMSパッドを使用中に使用開始時に点滅していなかったボリューム操作表示が点滅する。

EMSパッドの効能で血行が良くなり、電流が多く流れるようになった結果です。
出力レベルを下げてご使用ください。

仕　様

製品名		Body-Design ［ボディデザイン］
電源アダプタ		AC100V　50/60Hz
定格電圧(本体)		DC24V
消費電力		45W
寸法/重量	本　体	350×230×100 ㎜　/1.5Kg
	Vスティック	152×43×16 ㎜　/0.1Kg
	加温パッド	320×220×20 ㎜　/0.6Kg
出力波形		パルス波（矩形波）
出力周波数		約1〜500,000Hz
表面温度(加温パッド使用時)		高　約50℃　　低　約42℃
タイマー時間	シェイプアップ 筋力トレーニング インナートレーニング リラクゼーション	40分/30分/20分/10分
	マイクロカレント	15分（自動OFF）
	加　温	30分（自動OFF）
安全装置		接続確認回路 異常電流検知回路(EMS) 異常加熱防止回路(加温) 断線検知回路（加温）

※表面温度はJIS-C-9210に準拠した条件[ウレタン50㎜厚、全面断熱、室温20℃における値]で測定した値です。

MEMO